

# ① 学年より

135名の新生を迎えた入学式から、3週間が経ちました。入学式直後、多くの生徒は緊張や不安の表情を浮かべていました。クラスでの日直の仕事や給食の準備、浅草中学校の特徴でもあるノーチャイムなど、新たな生活環境に戸惑うことも多かったようです。

しかし大縄跳びレクや校内クイズレク、また様々な学級活動を通じて新たな仲間たちとの友好が深まるにつれ、徐々にやわらかな笑顔を見せてくれるようになりました。お昼休みの教室や体育館からは、すでに生徒達の明るく弾んだ声が聞こえてきます。

部活動をはじめ、これからまだまだ中学校生活の醍醐味が待っています。

本年度が生徒たちにとって実りある3年間となるよう、教員一同努めてまいります。よろしくお願い致します。

# ② 学年より

浅草中学校での2年生としての生活が始まりました。2年生は、「支える」立場としての役割が期待されます。先輩として1年生を支え、学校を引っ張る3年生をそっと支える。自分のことだけではなく、周囲を意識して生活してほしいと思います。部活動等で1年生と関わり、色々と丁寧に教えている姿が印象的で、早速先輩として活躍しており、とても頼もしいです。

2年生は、職場体験、霧ヶ峰移動教室、立志式、校外学習など、多くの行事があります。その行事一つ一つを通し、大人へと成長していくことを期待しています。

一年間、どうぞよろしくお願いいたします。

# ③ 学年より

とうとう中学校生活最後の1年となりました。今年の学年目標は『進化』です。1学年では『学び』、2学年では『挑戦』。そして『進化』です。この1年で義務教育は終わります。すなわち社会人としての素養をこの1年で備えて卒業していかなければいけません。だからこそ、自身をより成長させ、羽ばたいてほしいとの願いを込め、この目標を掲げています。また、今年はすべての行事に『最後の』という接頭語が付きます。だからこそ、悔いが残らないように思いっきり行事に取り組んでほしいと思います。何事も一生懸命頑張れるのがこの学年です。最後の1年を規律ある中楽しんでください。保護者の皆様、最後の年となりました。進路等、越えなければいけないハードルが多々ありますが、共に生徒を支えながら1年間を過ごしていければと思います。よろしくお願いいたします。

# A 組より

令和6年度は新生3名を迎えての3年目のA組がスタートしました。これで1・2・3年生が揃い総勢10名になり教職員も増えて、にぎやかな学校生活を過ごしております。2・3年生がしっかりと1年生をリードしている姿を目にすると、改めて集団の大切さを感じております。

今年度も日々の学習や学校行事を通して、少人数学級のよさを全面に出した「個に応じた指導」、達成感が得られる「生徒が輝ける活動」、共に学び共に高め合う「交流及び共同学習」を大切にしております。

今年度のA組も、よろしくお願いいたします。

## 生徒が主役となる学び

満開の桜に包まれて、新年度がスタートし3週間が経ちました。135名の新生を迎え、全校生徒424名での船出です。生徒たちはそれぞれの新しい環境にも少しずつ慣れ、さわやかな挨拶が交わされる活気ある学校生活を送っています。

さて、日本の学校の「学び」が変わろうとしています。これは、これからの未来社会を担っていく生徒たちが、社会の大きな変化に対応できる力を身に付けてほしいということです。一方的に教わるだけではなく、生徒自身で考え、仲間とともに試行錯誤して、答えを探し出す「学び」に変わっていきます。答えを「考える」、「探す」、「見つける」主役は生徒たちです。だからこそ、授業中はたくさん悩んだり、困ったり、仲間とたくさん話し合ったりしてほしいと思います。

本校では、このような「学び」を進めていくために授業スタンダードである「浅中4ステップ」を設定しました。個の学びを調整していくための振り返りや協働学習を取り入れています。

生徒たちの夢や希望がさらに大きくなり、その実現に向けて具体的な目標を設定し、課題を解決していきながら、それぞれの理想とする未来に近付いていくことのできる力を、教職員一丸となり育成してまいります。そして、生徒が自分にとって良いと思えることに対しては、積極的に挑戦できる環境づくりにも努めていきます。

保護者、地域の皆様におかれましては、今年度も引き続き本校の教育活動にご理解とご協力をお願い申し上げます。

校長室より  
渡邊 渉

## 第34回入学式



## 仁義礼智信

「推」という漢字は、ずっしりと重みや力をかけておすことを表している漢字です。基本的には、「前におすすめる」事ですが、他に「考えをめぐらす」という意味合いもあります。例えば、「先人の苦勞を推し量る」「推敲(すいこう)」などです。

4月、入学、進級する中で新しい仲間と触れ合う機会が多くなりました。学校でも地域でもいろんな考えの人と出会います。大切なのは、「人の振る舞いや気持ちを推し量って行動する」ことだと考えます。そうすることで、人間関係がスムーズに行くのではないのでしょうか。そのことは、浅中の校訓の「仁」の精神にもつながり、より良い学校生活が送れると信じます。そんな、皆さんを心から応援します。  
(副校長 小幡 順子)

5月の浅中しぐさ



# 4/11 新入生歓迎会・部活動紹介



## 4/22 認証式

### スクールソーシャルワーカー SSW にご相談ください

スクールソーシャルワーカー（SSW）は、生徒の皆さんや保護者の方から、学校や家庭での悩みや困りごとを聞き、福祉に関する専門的な知識・技術を活用して、保護者の方と一緒に解決方法を考える福祉の専門職です。

家庭や学校、地域の関係機関と協力、連携しながら、利用できる制度やサービスの情報提供、家庭訪問などをします。

ご相談の申し込みは、学校へお願いします。

